

オーディオ実験室収載

東京春祭を楽しむ(44)

—ライブ配信(44)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2025No.51】で紹介した東京春祭 25 のプログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、ワルツ王と黄昏のウィーンの演奏の配信を試聴しました。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は PC から Sonica DAC への送り出しですが、昨年から下記の変更がなされています。

Crystal Ep-G の導入

Crystal E Jtune に Crystal E 連結

さらに、ルーター→スイッチングハブ→PC の LAN 接続 2ヶ所に OPT ISO BOX を介在させ、OPT ISO BOX の電源に Petit Susie Solid State を適用しています。

プログラムは次のとおりです。

東京春祭マラソン・コンサート vol.15

ワルツ王と黄昏のウィーン

J.シュトラウス 2世 生誕 200 年に寄せて

日時・会場

2025 年 4 月 13 日 [日]

東京文化会館 小ホール

企画構成／お話：小宮正安（ヨーロッパ文化史研究家／横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授）

【第 I 部】13:00 開演（12:30 開場）

《取り壊し屋》——帝都の胎動と成長

出演

ヴァイオリン：伊藤亮太郎、鍵冨弦太郎

ヴァイオリン／ヴィオラ：猶井悠樹

チェロ：奥泉貴圭

コントラバス：瀬泰幸

ピアノ：佐藤卓史、三浦謙司、山縣美季

曲目

リスト：シューベルトのワルツ・カプリスによる《ウィーンの夜会》S.427 より 第7番

J.シュトラウス1世：ワルツ《喜びの挨拶》op.105

J.シュトラウス2世：デビューのカドリーユ op.2

J.ドレクスラー：弦楽四重奏曲 第1番 op.60 より 第1楽章

J.シュトラウス2世：ポルカ《リゴーリ坊主のため息》op.57

J.シュトラウス1世：ラデツキー行進曲 op.228

C.ガイガー：

ラデツキー行進曲 op.14 No.1

イエラチッチ行進曲

J.シュトラウス2世：

ワルツ《蛾》op.157

取り壊しポルカ op.269



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

「ワルツ王と黄昏のウィーン—J.シュトラウス2世 生誕200年に寄せて—」というテーマで次の三部構成のプログラムのうち第I部を試聴しました。

【第I部】《取り壊し屋》—帝都の胎動と成長

【第II部】《雷鳴と稻妻の下で》—帝都の繁栄と動搖

【第III部】《抱かれよ数多の人々よ》—帝都の理想と憧憬

第I部の解説によれば、ウィーンの華やかな音楽の時代の初期のものが演奏されました。

曲目のうちワルツやポルカの曲は、オーケストラではなく、小編成のアンサンブルやピアノで演奏されました。

リストのシューベルトのワルツ・カプリスによる《ウィーンの夜会》第7番、J.シュトラウス2世のデビューのカドリーユ、J.シュトラウス2世のポルカ《リゴーリ坊主のため息》、C.ガイガーのラデツキー行進曲、C.ガイガーのイエラチッチ行進曲とJ.シュトラウス2世のワルツ取り壊しポルカは、ピアノの独奏です。

J.シュトラウス2世の作曲を指導したドレクスラーの弦楽四重奏曲第1番 第1楽章は通常の弦楽四重奏の編成です。

J.シュトラウス1世のラデツキー行進曲とJ.シュトラウス2世のワルツ《蛾》はピアノとヴァイオリンの演奏です。

ピアノの独奏は、まろやかで優雅に演奏され、ピアノとヴァイオリンの演奏も優雅に対話します。

ワルツは、ヴァイオリンの甘い音色を、コントラバスのスタカットふうのズンズンという低音がダンス音楽風に支えます。ポルカのピアノは、快活に元気よく響きます。



4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができ、ワインナワルツのアンサンブルやピアノ独奏のライブ感が向上し、スピーカーアキュライザへの Crystal Ep-G の導入や PC の仮想アース Crystal E Jtune への Crystal E 連結および LAN 接続に OPT ISO BOX を介在させたことや OPT ISO BOX の電源に Petit Susie Solid State に適用したことなどの対策が功を奏していることが分りました。

以上